

バックナンバー電子化と公開に向けてのお願い

『甲南国文』第五十三号から、雑誌刊行にあわせインターネットで公開しておりますが、このたび、それ以前の貴重な教育研究成果についても公開の運びとなりました。連絡先の判明している著作権者の方々には個別に連絡しておりますが、一部の著作物については連絡先不明などのため公開しておりません。

つきましては、このお知らせにより、リポジトリでの公開の許諾をお願い申し上げます。なお、これは複製権と公衆送信権についてのものです。著作権を委譲するものではありません。

期限までにご連絡のない著作物につきましては、暫定的に許諾を得られたものと同様に公開いたしますが、公開後におきましても、著作権者からご指示があった場合は、当該著作物を速やかに公開停止いたします。また、公開にあたり執筆者による写真や図版以外については、原則として電子化の対象から外すことにつきましても、あわせてご了承いただきたく存じます。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

対象刊行物 『甲南国文』第一号より第五二号まで

連絡先 甲南女子大学文学部日本語日本文化化学科コモンルーム  
〒六五八―〇〇〇一 神戸市東灘区森北町六丁目二番二十三号

電話(直通) 〇七八(四一三)三〇八〇

電子メール nichibun@konan-wu.ac.jp

執筆者紹介(掲載順)

信時 哲郎(のぶとき・てつろう 本学教授・文学部長)  
酒井 雅史(さかい・まさし 桃山学院教育大学准教授)  
富田 幸子(とみた・さちこ 本学講師)  
津田 なおみ(つだ・なおみ 本学講師)  
佐藤 毅彦(さとう・たけひこ 本学教授)  
谷口 重徳(たにぐち・しげのり 本学准教授)  
根来 麻子(ねごろ・あさこ 本学准教授)  
松笠 裕之(まつかさ・ひろゆき 本学准教授)  
佐々野 真一(ささの・しんいち 本学准教授)

※本号の編集は横濱雄二が担当しました。

## 甲南国文 第七一号

令和六年三月三十一日 印刷・発行

編集・発行 甲南女子大学国文学会

神戸市東灘区森北町六丁目二番二十三号

印刷・製本 株式会社 春日